



























カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】今後エコアクション21の取得を目指す。			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	会社ホームページにおいて産業廃棄物の処理計画と実施報告を開示している。												12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現場での気象観測機器等はソーラーパネルを使用している。社用車についてはハイブリット車の導入を進めている。							7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	使用木材は極力県産材を使用し、支障木の処理については薪として地権者や住民、社員に利用をしてもらっている。												12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内会議においてコンプライアンスの厳守を通達、徹底を図っている。																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	独禁法に係る研修会への参加を通して、不正競争行為にかかわらない方針を遵守することを周知している。																	16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許権など知的財産の利用使用にあたっては細心の注意を払い、特許権の侵害や不正利用を行わないことを確認している。									8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報の取り扱いに関して個人情報保護規定によって管理責任者を定め、適切に扱っている。																	16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはない。今後も取り扱う予定はない。																		16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先とのコミュニケーションを重視し、情報の共有により取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品(構造物)の施工前から品質、出来形、安全に対する綿密な計画書を作成し、絶えず検証を行いながら日々の管理をしている。			3.9									12.4							
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質及び出来形において規格値より厳格な社内基準を設けて日々の管理をし、完成検査の前に社内検査を実施し確認をしている。																	9		
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した製品の使用と施工方法の工夫に取り組んでいる。						6						12	13	14	15				
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	治水砂防等、防災減災のための工事を中心に事業を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32		【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	施工前に施工箇所の地区代表者を通じて住民への説明を行い、地区の要望や問題点、注意すべき点を聞きながら施工している。					4									9			11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	消防団活動や自治会活動に積極的に参加し、道路清掃や除草作業などのボランティアを行っている。 市町村の消防団協力事業所に登録している。					4												11					14	15			17
34		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	使用する木材は県産材を積極的に使用し、その他の資材も大北地域の事業所との取引を基本としている。														8	9			11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	基本理念と経営目標を明確にし、社内に掲示するとともに会社ホームページに明記している。														8	9											17
36		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	建設業法、労働基準法等関係法令に係る講習会や説明会に参加し、従業員にも周知している。																										16
37		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	担当役員と各部署が連携し対応している。																										16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	地権者・管理者との事前打ち合わせにより、施工方法や工程の調整等、計画段階から完成まで進捗状況を開示し、適切に対応をしている。																									16	17
39		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	各作業所において始業前の危険予知活動によりリスクの特定と評価をし、対策を立てたうえで作業をしている。																										16
40		【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域貢献・自然環境の保全と生活環境の整備を目標に掲げ、単体及び所属団体によるボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。																										16
41		【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	緊急時連絡体制を整備しており、有事の際の担当や役割も決めており、他社との協力体制も整えている。																9			11			13 13.1				16
42		【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】現在、事業承継に関しては検討段階にあり、今後有識者とも相談しながら計画を立てたい。															8	9										17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)